明星

亀山市立白川小学校だより
第８１号
平成２８年３月９日（文責　浅熊）

～であい　ふれあい　そして未来へ～自分を発揮し　求め続ける白川っ子の育成

3／11　東日本大震災から5年

２０１１年(平成２３年)３月１１日。

あの東日本大震災から５年の月日がたとうとしています。あの日、東北地方を中心に多くの方が亡くなり、現在まで行方不明の方も数多くみえます。また、いまだに１８万人を超える人々が、自分たちの生まれ育った故郷を離れ、避難生活を続けてみえます。

私たちも、震災により亡くなられた方々のご冥福を祈るとともに、いつまでも忘れることなく一日も早い復興を願い、**11 日には、学校に半旗を掲げるとともに、地震のあった２時 46 分に黙祷（もくとう）**をささげたいと思います。

お家でも、自然の脅威をおそれるだけでなく、もしもの時にどうすればよいか、家族で話し合う機会としていただければと思います。

【大震災の様子を伝える新聞記事】

※黙祷…目をとじ、声を出さないで、心の中でいのること

卒業式に向けて

１年生２年生が、卒業式の時に６年生のみんなに胸につけてもらうコサージュ(胸花)を作ってくれました。

今年、自分たちが勉強してきたカイコの勉強の一環です。１８日(金)の式には、６年生一人ひとりの胸に飾ってもらい、卒業をともにお祝いしてくれます。

ちなみに小さい方は、入学式の新１年生用です。

やさしい心づかいに・・ホッコリ

「おはようございます！」みんなの元気な声が聞こえてくる朝の風景。ランドセルを置くとすぐに運動場で遊びたいのでしょうか。下靴を下駄箱に入れずに土間の所においていく子もちらほら・・・

そんな中、何も言わず、すーっとみんなのクツを並べてくれる子がいました。きれいにそろったクツを見て、温かい気持ちになりました。ありがとう。

「もちもちの木」を勉強して

３、４年生教室の前に、３年生が国語で勉強した「もちもちの木」の作品が並んでいます。「もちもちの木」は、斉藤隆介さんのお話です。

『じさまと２人山奥で暮らすまめ太は、夜中に一人でションベンにも行けねえぐらいの弱虫です。そんなある日の晩、じさまが急に具合が悪くなります。急いで隣村まで医者様を呼びに行かなくてはいけません。さあ、まめ太は、行けるでしょうか・・・・』

そんなお話を勉強した後、こんな作品ができました。